沢オープニング
セドノ沢左俣
2011 年 4 月 24 日
L 白土、三井、野澤、河崎、天野（記）

前夜の宴会から参加予定であったが嵐のような雨風に行く気はそがれ朝８時の戸沢集合に切り替える。前夜の雨はすっかりあがり爽やかな４月の日曜日、戸沢に着くと前夜から来ているメンバーは「来なくて正解ですよ、ヒルまで出ましたよ。」とやや疲れた様子。いや一御苦労さま。ちょっと悪いような気もしながら内心は行かなくてよかった。話をしているうちに徐々にメンバーが集まりぼちぼち沢支度となる。三井号が林道をすっ飛ばし駐車場へ駆け下りてきた。いやはやお元気である。

メンバーがそろい予定通り８時出発となる。２年半ぶりの沢登りということで実はドキドキである。すこしずつ丹沢歩きも始めたが最近また少し気なる膝が沢についていけるか心配である。皆の後に付きしばらく本谷を進み F1 を登る。やがてセドノ沢に入る。しばらく小滝を越えながら進む。沢靴のフリクションを確かめるように慎重に、また皆に遅れないように歩く。やがて 13 メートル大滝に。ここでロープを出す。トップ河崎で行く。固定ロープを後から登るが久々の滝登りは適度な緊張があり楽しい。ホールドの安定と足のフリクションを確認しながら 3 点支持で登る。三俣を過ぎ８メートルの滝で再びロープを出す。今度のトップはリーダー。プロテクションが乏しいのでカムを使うが効いている気配がない。取り付いてみると遠目に見るよりホールドが多く下部は割としっかりしていた。

適当に小滝を越えながら進むとやがて水量も少なくなり三俣の右が稜線に一番近いかと選択する。途中狭いリッジを通りまもなく稜線かと思いきや再び沢にもどる。あとは脆いガレをひたすら登り稜線に出る。それにしても大滝から随分と時間がかかった気がする。

書策小屋跡で乾いた靴に履き替え政治郎尾根下山。気なる膝は思ったよりも頑張ってくれた。今年はやさしい沢から目標一泊の沢までとしよう。幸先の良いスタートが切れうれしい。戸沢着 13 時 30 分。